

# まちの ニュース

## 新春の節目に決意を新たにす消防出初式

市民の生命、財産を守る消防団の使命を確認し、団結を高める市消防団出初式は1月3日、市松尾総合運動公園で開催されました。

当日はあいにくの雪模様ながら、消防団員550人と婦人消防協力隊員130人、消防車両40台が出動しました。松尾地区公民館前をスタートし、ラッパ隊の高らかな演奏に合わせて、一糸乱れぬ分列



観閲を行う統監の田村市長などに規律と士気の高さを示しました



統制の取れた分列行進を見せ、団結力を披露

行進を披露。市消防団の統制の取れた高い規律と団結力を見せました。

式典で渡辺東六団長が「地域を火災や自然災害から守るため、さらなる技術の向上に励んでほしい」と訓示しました。

統監の田村正彦市長は「昨年の豪雨災害での消防団の献身的な活動を見て、地域防災の重要性を再認識しました。皆さんのますますの活躍を期待します」と激励。統監や団長などによる観閲を行い、士気の高さを示しました。

団員たちは、市民からの期待を再確認し、防災の決意を新たにしました。



↑ 達増知事や関係者でテープカットを行い、開通を祝いました

← 松川一の宮太鼓の皆さんによる演奏が式典に花を添えました



県が整備を進める一般国道282号西根バイパスの第1期工区および一般県道岩手大更線竹鼻踏切工区の利用開始を祝う開通式は12月28日、同バイパス南側で開かれました。式典は松川一の宮太鼓の演奏で開幕。達増拓也知事は「バイパスの完成で交通環境が改善され、地域の発展に役立つことを期待します」とあいさつしました。

## 地域の念願、西根バイパス第1期工区開通

達増知事や田村正彦市長など関係者のほか、同日が誕生日の中田優哉くん(大更小5年)、本宮のどかさん(西根中1年)がテープカットを行いました。第1期工区は延長4.2キ、総事業費は約58億円。竹鼻踏切工区は、延長1.2キ、総事業費約21億円。本年度は、第2期工区的设计に向けた測量を行っています。

## 助け合いの義援物資へ健康に良いそば寄贈

歳末助け合いの義援物資として、株式会社北館製麺（北館孝雄社長）は12月10日、同社の製品「韃靼そば」100箱を市に寄贈しました。

同社は、合併以前から旧安代町へ、歳末助け合いの一環として義援物資の寄贈を多年にわたり継続。本年は、健康に良いとされるルチンが豊富な韃靼そばを寄贈しました。

義援物資は、市社会福祉協議会を通じて高齢者世帯などに配布されました。



田村正彦市長に目録を手渡す北館社長(写真右)

## 年の瀬も防犯意識を緩めないよう呼び掛け

年末年始の多忙な時期にかけて、犯罪や事故が増えるのを防ごうと12月14日、西根地区の大更駅周辺で、関係機関など約35人が出動し、啓発活動を行いました。

これは、同日から1月3日までの年末年始地域安全運動に合わせて行われたものです。振り込め詐欺に遭わないよう確認することや、少しの間でも家を留守にするときは施錠をすることなどについて、呼び掛けました。



大更駅周辺でパレードを行う参加者

## 市の第三セクターの八幡平

温泉開発株式会社、株式会社コスモプラザ西根、株式会社松尾ふるさと振興公社、株式会社安代産業振興公社は12月21日、臨時株主総会を開催し、合併することを決定しました。

新会社名は「八幡平市産業振興株式会社」。資本金は4億4091万円で、3月1日に合併し、設立します。

従業員は継続雇用し、スケールメリットを生かして経営基盤の強化を図る方針です。

## 第三セクター4社が合併し、経営力を強化



4社が合併することで経営基盤を強化します



剣道のけいこを披露するスポーツ少年団員

八幡平市スポーツ少年団活動発表会は12月16日、市総合運動公園体育館で市内のスポーツ少年団員332人が参加して開かれました。

各団体の代表者が、これまでの活動を通じて学んだ成果をまとめた作文を発表。また、剣道と空手道の団員は、練習内容などの実技を披露しました。

参加した団員は、他団体の活動に学ぼうと、真剣な表情で聞き入っていました。

## スポ少の活動から学んだ大切なことを発表

## 家族と祝う100歳の誕生日に記念の花束

島山アキさん(荒木田)は12月5日、めでたく100歳の誕生日を迎えました。

島山さんは明治40年12月5日、平館の生まれ。性格はまじめで働き者、10年ほど前まで稲作や酪農などに精を出しました。子ども10人を育て、孫21人、ひ孫32人、玄孫2人に恵まれています。

家族は「食べ物の好き嫌いは特になく、何でも食べていたことが長生きの秘訣かな」と話していました。



島山さん(写真中央)へお祝いの花束を手渡しました

## 冬の八幡平を鮮やかに彩るゆきまつり開幕



もちつきに挑戦する園児たち

冬の八幡平地域を盛り上げるイベント、八幡平ゆきまつりのオープニングセレモニーは12月25日、八幡平温泉郷の特設会場で開かれました。

セレモニーで柏台保育所の園児24人が、歌やお遊戯を元気に披露し、地元産のもち米を使ったもちつきを体験。自分たちでついたもちや、特産のホロホロ汁を味わいました。また、温泉郷を彩るイルミネーションの点灯式を行いました。まつりの開幕を告げました。

市は、地域に根ざしたスポーツを振興しようと12月11、12の両日、田山小学校でスポーツ教室を開催しました。

講師は、アルベールビル冬季オリンピック金メダリストの三ヶ田礼一さん(田山地区出身)。体験談を交えた講演のほか、ジャンプ競技の基本練習を行いました。児童に金メダルを見せ、「みんなが取り組んでいることを大好きになって、頑張ってください」と激励しました。

## 金メダリストにジャンプの基礎を学ぶ教室



児童たちに金メダルを見せる三ヶ田さん



盛り上がりを見せた、すごろく大会

松尾地区の声の広報利用者と福祉作業所「そよかぜの家」の交流会は12月20日、市総合福祉センターで開かれました。声の広報利用者とその家族、福祉作業所の通所者など約30人が参加。午前中の講話や健康講座に続き、午後はお楽しみすごろく大会です。止まっただま目ごとに、ものまねをするなどのイベントが盛りだくさん。参加者は、楽しみながら大きなサイコロを振り、ゴールを目指しました。

## 楽しいゲームがみんなの心に笑顔を届ける

手作りのしめ飾りでお正月を迎えましょう

大更公民館講座、わんぱくクラブとふれあい講座の「世代間交流・しめ飾り作り」は12月25日、大更体育館で行われました。

これは、普段はそれぞれ開催している児童向け、お年寄り向けの公民館講座を同時に

開催し、世代間の交流をしながら楽しもうというものです。参加したお年寄りが児童に縄をなう方法などを教えながら、しめ飾りを作ります。

参加者は、完成した手作りのしめ飾りを前に「早く家に飾りたい」と大満足でした。



↑縄をなう方法などを教えてもらいながら、しめ飾りを作る参加者

←2008年が良い年になるよう、願いを込めながら、丁寧に仕上げます



世代間交流「まなびの風」収穫祭は12月14日、田山公民館で行われました。

田山小学校(菅原由子校長、児童50人)の1・2年生10人が、自分たちの手で種まきや刈り取り、脱穀をしたソバを使い、郷土料理の柳ばっとう作りに挑みました。手でこねたそば粉を棒で薄く円形に伸ばし、細く切ってひも状にします。このひもを短く切って柳の葉の形に整え、つまようじで葉の模様を付けていきます。児童たちは、地域住民の指導を受けながら、それぞれ個性あ



作り方を教わりながら、柳ばっとう作りに挑戦する児童

ふれる柳ばっとうを作りました。

このほか、地域住民によるそば打ちの実演を見学。その手際の良さに児童たちは興味深そうに見入っていました。

いよいよお待ちかねの試食です。具材がたくさん入った栄養たっぷりの柳ばっとうと、かけそばを試食した児童たちは「おいしい」を連発。何杯もおかわりをして、おなかいっぱい食べました。

参加した児童は「そば粉をこねて、葉っぱの形を作るところが面白かった」と大喜びでした。



何杯もおかわりするほど、おいしくできました

世代間の垣根を超えて交流を深める収穫祭